

令和7年度の重点課題

○「20mシャトルラン」「ボール投げ」に絞って取り組む

○「20mシャトルラン」「ボール投げ」「長座体前屈」を県平均かつ全国平均以上を目指す

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○体育の時間の初めにサーキット運動、柔軟運動を取り入れる。
・ボールや縄跳びを使って、投擲力や跳躍力を高める運動を取り入れていく。
・授業前にストレッチをして柔軟性を高めていく。
・基礎的な体力を身につけ、向上させるために遊具を使って瞬発力、走力を中心に鍛える。

○児童の運動をして楽しかったという意欲を維持させるためにアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を取り入れる。

○健康委員会を中心に、休憩時間に「健康タイム」を企画・運営し、体力づくりの奨励を行う。

○わくわくタイムなど、児童会を中心に、レクリエーションを企画・運営し、楽しく運動する機会を増やす。

○冬に全校で持久走に取り組み、運動する機会を増やす。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.80	22.00	40.40	47.80	63.00	9.06	164.40	32.40	62.40	第5学年	16.25	17.00	44.75	41.00	37.00	9.98	142.00	13.50	55.25

県平均値かつ全国平均値未満

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.80	22.00	40.40	47.80	63.00	9.06	164.40	32.40	62.40	第5学年	16.25	17.00	44.75	41.00	37.00	9.98	142.00	13.50	55.25

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第5学年	25.00	75.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

体を動かして遊ぶことが好きですか	第1年	第2年	第3年	第4年	第5年	第6年
肯定	80%	50%	100%	89%	100%	50%
否定	20%	50%	0%	11%	0%	50%

重点課題

情意面での課題

○第5学年に対して、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」という質問では、100%の児童が肯定的な回答であった。

○全校に対して、体を動かして遊ぶことは好きですかという質問で、肯定的な回答をした児童は、82.9%となり、昨年度の70.8%を上回った。

体力面での課題

○男子は8項目中7項目で県平均かつ全国平均以上であった。握力だけが、県平均かつ全国平均未満であった。

○女子は、8項目中5項目で、県平均かつ全国平均以上であった。上体起こし、50m走、立ち幅とびが、県平均かつ全国平均未満であった。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○体育の時間の初めに、サーキット運動、柔軟運動を取り入れる。
・サーキット運動では、鉄棒や雲梯、上り棒を使って、筋力や握力等を身につける。
・柔軟運動では、ウォーミングアップとして、上体起こし等を取り入れる。ストレッチを念入りに行う。
○走力を向上させるために「おにごっこ」「ドンじゃんけん」「くるっとダッシュ」など準備体操にくみ入れ、毎授業で取り組む。
○児童の運動をして楽しかったという意欲を維持させるためにアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)を取り入れる。(例:体じゃんけん、しっぽ取りなど)

体育の授業以外で行う取組内容

○わくわくタイムなど、児童会を中心としたレクリエーションを実施し、異学年と協力しながら体を動かす機会を増やす。
○健康委員会を中心に、休憩時間に「健康タイム」を企画・運営し、暑い日も楽しく運動できる機会を増やす。
○冬に全校で持久走もしくは縄跳び等に取り組み、寒い日も体力づくりに励む。

令和9年度の重点目標値

○「握力」「上体起こし」「50m走」「立ち幅とび」を県平均かつ全国平均以上を目指す。
○全校で「体を動かして遊ぶことは好き」と答える児童の割合が80%以上を維持する。